

「PTC 特集号」に寄せて

取締役
常務執行役員

荒 木 達 朗



世界中に蔓延した新型コロナウイルスがようやく収束しようとしています。未知のウイルスによるパンデミックは、世の中の分断を加速させ、社会や人々の在り方を大きく変化させました。この変化には環境、社会、ガバナンス、いわゆるESGに関わる問題が絡み合っており、戦略的サステナブル投資をどう進めていくのかなど、ステークホルダーから厳しい視線が注がれています。また持続可能な社会の実現という目標に向け、企業としてどのように取り組むのか、その姿勢が問われています。

この目標達成に向け、機械メーカーである当社が注力すべき分野として「環境」「エネルギー」「自動化」が挙げられます。たとえば、動力源としてのモータ、制御、変減速機は、社会生活のあらゆる場面を支え動かしているわけですが、年々増加する世界の省エネルギー需要に対して、高効率なモータを開発し、そこに最適な回転数に制御するインバータを加えて電機制御製品の開発も進めていくことで、我々は持続可能な社会の実現に貢献しようとしています。

高齢化社会が進むなかで、労働人口の減少を背景にした省人化の要求は避けて通れない課題です。自動化や協働ロボットの導入に向けたアクチュエータや、AMRといった自律移動ロボットもサステナブルな社会の実現に貢献できる製品です。重労働や危険を伴う作業、また単調な作業から働く人を解放することで職場の環境が改善されれば、一人ひとりのウェルビーイングな暮らしにつながります。本特集ではアクチュエータTUAKAやAGV/AMR用ドライブソリューションsmartrisの技術に触れながら、社会課題の解決に向けた具体的な製品についてご紹介いたします。

また、メーカーとして製品を社会へ届けるに当たり前提となるのは、高品質な製品を安定して生産し続ける技術力です。本特集では、大型歯車の熱処理における歪み問題を取り上げ、その解析結果と課題の克服事例をご紹介します。さらに、耐久試験で損傷した歯車の事例をもとに、減速機構造全体を考慮した歯当たり解析から原因を推定し、損傷防止設計を提案いたします。

本特集号の内容が少しでも皆様のお役に立つことができれば幸甚です。

※ 「TUAKA」および「smartris」は、住友重機械工業株式会社の登録商標です。